

2022年度 全国保育士養成協議会  
東北ブロックセミナー 岩手大会

## 開催案内

### ◇大会主題

保育現場における  
「保育の質の向上」のための連携協働  
—それぞれの主体性の発揮と互惠性をめざして—

期 日 2022年11月19日（土）・20日（日）

会 場 マリオス MALIOS 盛岡地域交流センター <主会場>

住所：〒020-0045 岩手県盛岡市駅前西通2丁目9-1 電話：019-621-5000

いわて県民情報交流センター アイーナ aiina <分科会会場>

住所：〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 電話：019-606-1717

主 催：全国保育士養成協議会 東北ブロック

後 援：岩手県 盛岡市

岩手県教育委員会 岩手県社会福祉協議会

大会事務局：盛岡大学

## ◇企画趣旨

こども家庭庁の設置が話題となる一方で、コロナ禍3年を経過する中で合計特殊出生率は下降の一途をたどり、1.31と、0.1ポイント以上の少子化の進展がますます加速しています。また、ロシアによるウクライナ進行から半年経過しても、先行きが見えない不確実社会が世界を覆い、21世紀における世界大戦の勃発が予断を許さない事態となっています。日本においても、デフレ脱却が行われない中で、賃金が上がらず円安物価高と、経済的見通しがたたないことから、結婚や出産を断念せざるを得ず、出生率の低下・超少子高齢社会が現実のものとなっています。

実際、全国的に待機児童数が5年連続減少し続け、令和4年4月時点では2,944人と1994年の調査開始以来最も少なくなりました。具体的には、政令指定都市のなかで、いち早く待機児童を解消してきた京都市は、保育所や認定こども園における定員割れが続き、小規模保育施設の経営が成り立たなくなってきました。東京都においても、0歳児の定員を満たさない保育園が続出しています。「選ばれる保育施設」の時代に突入したと考えるべきかもしれません。

一方で、慢性的な保育者不足が地域的な偏在があるといえ、「子どもの最善の利益」を標榜するほどに、より深刻な問題を投げかけています。同時に、保育現場における「保育の質の向上」や「保育職の専門性の向上」が「選ばれる保育施設」と相まって、必須の要件となってきました。子ども・子育て支援法による業務が従前より増え、保育士が子どもの育ちの記録とは違う書式の事務が増え、繁忙さに拍車をかけている点も否めません。専門職の専門性について緒論ありますが、体系的な知識・理論、専門的技術、専門職権威、専門職文化、倫理綱領、さらには国家資格など社会的信用を示す水準が要件として求められるなかで、保育職の社会的評価の向上と専門性の向上とは一体の課題です。

先年、保育界にキャリアパスの仕組みが導入され、保育職のキャリアアップ研修制度が創設されました。ただし、これをもって保育職の待遇面の問題すべてを解決し、改善されるとはいいきれません。職場の士気の向上に繋げていかなければ、却って分断化されるやもしれません。このキャリアパス制度に保育士養成校教員が寄与するのみならず、日常的な保育場面や研修へのコンサルテーションやスーパービジョンなど、実務的な専門知識・専門技術の向上による高度専門職の養成・育成のために、保育士養成校が果たしうる役割の余地が残されているのでないでしょうか。

他方、幼児教育センターの設置が都道府県レベルだけでなく、政令市や少子化がいち早く進行した地域において先駆的に取り組まれている事例も登場してきました。さらに、養成段階における保育学生への質の高い実践教育も大きな課題と考えます。

本セミナーは、保育士養成校と保育現場とが保育の現状を真摯に見つめながら、建設的に超少子高齢社会における保育の価値と実践知を見出し、実行すべき事柄を相互に探し求める契機となるようにと、東北ブロックセミナーにおいて平成29年度から4年連続で同一テーマとしてきた「保育現場における『保育の質の向上』と保育士養成校の役割・課題」について、今回も引き続き包括的に議論します。トピックとして、大会初日に行われた各分科会の概況を分科会司会者から報告していただき、それをふまえて実習・就職・研修の面のみならず、多角的に保育現場と養成校協働の態様を参加者全員で考究し合います。

なかでも、「保育の質の向上」を主題としてきました。現場と養成校が子どもを真ん中に置いて、相互に主体性を発揮して、互惠性を大切にした日常からの協働を目標としています。この主題に相応しい保育学・幼児教育分野において、現場と共に深く広く長く関わり続けてこられている神戸大学大学院の北野幸子先生をお招きしました。1日目基調講演と2日目の助言者としても盛岡で熱弁をふるっていただきます。

また、くしくも、本年度4月に岩手県教育委員会に「いわて幼児教育センター」が開設されました。子どもの最善の利益を前提とした「保育の質の向上」のための保育士養成・就職・就労継続・研修のあり方を、公私園種を越えて一緒に学び合う機会としたいと企画いたしました。岩手県内はもとより、東北各県から現場の先生方のご参集をお待ちしております。

# プログラム

◇大会一日目 2022年11月19日(土)◇

開会式・基調講演 [\[マリオス大ホール\]](#)

12:30~12:45 開会式

12:45~14:00 基調講演

講師:神戸大学大学院 教授 北野 幸子 氏

演題「保育現場と保育士養成校の「保育の質の向上」のための連携協働  
—それぞれの主体性の発揮と互恵性をめざして—

14:00~14:20 会場移動・休憩

分科会 [\[アイーナ\] 8階の三室は一般/7階は岩手県立大学サテライトキャンパスを借用します](#)

14:30~17:00 分科会

[第1分科会] [\[保育所\]](#) 保育実習における現場と保育士養成校の協働 [\[アイーナ8階 804A\]](#)

司会者・・・東北福祉大学

准教授 石森 真由子 氏

発題者Ⅰ・・・認定こども園南仙北保育園

指導保育教諭 遠藤 裕恵 氏

発題者Ⅱ・・・修紅短期大学

講師 中尾 彩子 氏

[第2分科会] [\[施設\]](#) 施設実習における現場と保育士養成校の協働 [\[アイーナ8階 804B\]](#)

司会者・・・福島学院大学

講師 細川 梢 氏

発題者Ⅰ・・・児童養護施設 青雲荘

院長 佐藤 孝 氏

発題者Ⅱ・・・児童発達支援センター 盛岡ひまわり学園

園長 小綿 義道 氏

発題者Ⅲ・・・岩手県立大学 教授 佐藤 匡仁 氏

[第3分科会] [\[就職\]](#) 保育士就職支援と保育士就労継続支援 [\[アイーナ7階 学習室1\]](#)

司会者・・・東北福祉大学

准教授 青木 一則 氏

発題者Ⅰ・・・岩手県社会福祉協議会福祉人材研修部保育士・

保育所支援センターコーディネーター 内堀 泰子 氏

発題者Ⅱ・・・専修大学北上福祉教育専門学校

講師 熊谷 賢 氏

[第4分科会] [\[研修\]](#) 幼児教育センターと保育士養成校による養成の現状と現場での協働の課題

[\[アイーナ8階 803\]](#)

司会者・・・仙台白百合女子大学

教授 三浦 主博 氏

発題者Ⅰ・・・岩手県教育委員会事務局学校教育室

幼児教育主任指導主事 福岡 喜久子 氏

発題者Ⅱ・・・盛岡大学

教授 石川 悟司 氏

17:00~17:10 会場移動・休憩

17:10~17:30 2022年度全国保育士養成協議会東北ブロック第2回総会  
17:30~17:50 移動  
18:00~20:00 情報交換会 [\[ホテルメトロポリタン・ニューウイング\]](#)  
〒020-0033 岩手県盛岡市盛岡駅前北通2-27 電話 019-625-1211

◇大会二日目 2022年11月20日(日)◇

分科会報告・バズセッション [\[マリオス大ホール\]](#)

9:00~10:00 分科会報告  
司会進行 上村 裕樹 氏(聖和学園短期大学准教授)  
発題者Ⅰ [\[保育所\]](#) 石森 真由子 氏(東北福祉大学准教授)  
発題者Ⅱ [\[施設\]](#) 細川 梢 氏(福島学院大学講師)  
発題者Ⅲ [\[就職\]](#) 青木 一則 氏(東北福祉大学准教授)  
発題者Ⅳ [\[研修\]](#) 三浦 主博 氏(仙台白百合女子大学教授)

10:00~10:15 休憩

10:15~10:30 報告助言 北野 幸子 氏(神戸大学大学院教授)

10:30~11:30 フロアとのバズセッション

11:30閉会

11:40~12:00 2023年度全国保育士養成協議会 全国セミナー第1回実行委員会

主 催 全国保育士養成協議会 東北ブロック  
大会事務局 盛岡大学  
後 援 岩手県 盛岡市 岩手県教育委員会 岩手県社会福祉協議会

## セミナー参加に関して

### ☆参加費

○セミナー参加費	保育士養成校教職員	お一人 8,000円
	保育現場関係者等	お一人 1,000円
◎情報交換会参加費		お一人 6,000円

※ご宿泊等は、各自にてのお手配をお願いいたします

※参加お申込については、別添の「参加お申込について」をご参照ください